

第3学年 国語科教科経営案

四万十市立中村小学校

1 学校教育目標

「豊かに学び、共に生きる喜びをもつ児童の育成」

2 本校の研究主題

主体的に学ぶ児童の育成
～単元を貫く言語活動を位置付けた国語の授業づくり～

3 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

4 学年の教科目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

5 教科の課題

- 目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら適切に話すこと。
- 話し手の意図をとらえながら的確に聞くこと。
- 書く事柄を収集し、目的や意図に応じて自分の考えを明確に表現するために必要となる事柄を整理して書くこと。
- 文章構成の効果をとらえ、内容を的確に押さえたり登場人物を相互に関係付けたりして読むこと。
- 複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつこと。

6 経営方針

- 本時のめあてを児童にしっかりとめあて、めあてが達成できたかを振り返る。
- 児童が意欲的に取り組み、自ら考えたいくなるような発問の工夫をする。
- 既習事項を使って、児童が自ら課題を解決していくような授業展開を工夫する。
- 児童が関わり合う場面設定をする。
- 表現活動を取り入れる。(書く、復唱する、話し合うなど表現する活動)

7 学年の重点目標

- 目的を明確にし、伝えたいことを筋道を立てて話す能力、話の中心に気をつけて聞く能力を育てる。
- 書こうとするものの中心を明確にし、段落を意識して、様子や気持ち、理由や事例を挙げて書こうとする態度を育てる。
- 目的に応じ、内容の中心となる語や文をもとに段落相互の関係を考えたり、叙述を基に想像して読んだりする能力を身に付け、読書の習慣化に向けた読書指導に力を入れる。